

情報公開文書

課題名 : 当院におけるスボレキサント・ゾルピデム・プロチゾラムによる転倒・転落リスクの比較
研究期間: 倫理委員会承認日～2022年12月31日

1. 研究の対象

2015年4月1日～2019年3月31日に当院に入院し、睡眠薬のスボレキサント(ベルソムラ[®]錠)ゾルピデム錠、プロチゾラム錠を服用していた患者さん

2. 研究目的・方法

入院中の転倒・転落の原因としては、環境の変化や筋力の低下、病気や症状の影響などのさまざまな要因が複雑に絡み合い発生しますが、要因の1つに薬剤の使用が挙げられます。転倒・転落に影響を及ぼすといわれている薬剤の中で今回は睡眠薬に注目し、同種の薬剤のうち作用の仕組みより副作用中の転倒・転落が少ないといわれているベルソムラ[®]錠と、当院で多く処方されているゾルピデム錠およびプロチゾラム錠において服用中の転倒・転落率を比較し、今後の転倒・転落リスク軽減につなげていきたいと考えています。

研究方法は、2015年4月1日～2019年3月31日に当院に入院し、上記の3剤を服用した患者さんについて、当院内の報告システムから同期間内に転倒・転落した方を抽出します。それぞれの薬剤について転倒・転落率を計算し、普段の生活状況や病歴などから転倒・転落の危険性を判断するアセスメントスコアシートを基に患者さんの背景などを考慮して比較検討を行います。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別などの基本情報、身長、体重、病歴、治療歴、入院中の転倒・転落の有無、併用薬、これまでの生活状況等

4. 外部への試料・情報の提供

外部への試料・情報の提供はありません。

5. 研究組織

この研究は当院のみで実施されます。

6. 個人情報の取扱い

情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:
静岡県浜松市中区富塚町 328 番地 浜松医療センター
TEL:053-453-7111 (代表)

研究責任者: 浜松医療センター 薬剤科 田中 千穂